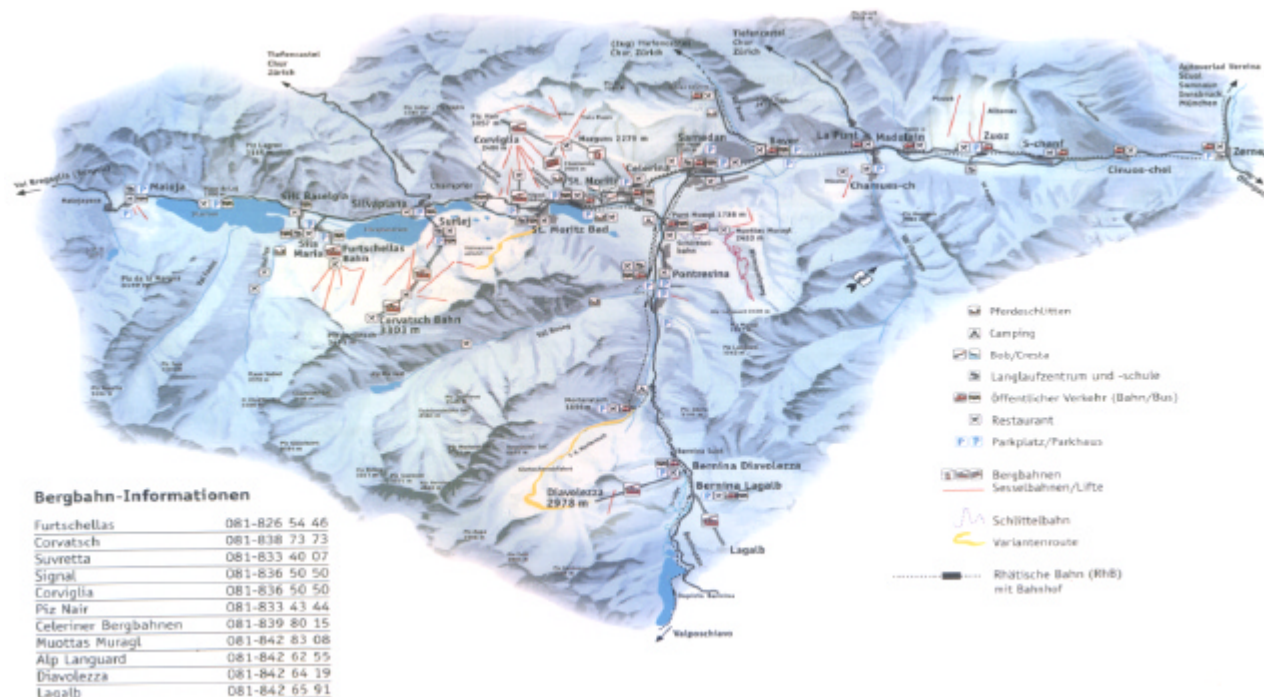


2 . スキー場の環境とシステム

スキー場はスイス・エンガディン地方に属し、その中心になるのがサンモリッツであり最大のスキー場(コルベリア)があります。(このエリアに流れるエン川に沿った地域をエンガディン地方と言います。)



今年是世界選手権も開催され、その大会に合わせてロープウェイ・リフトなどのリニューアルがされました。リフトは高速4人乗り・6人乗りで新しくきれいです。コルベリアスキー場の施設のほとんどをサンモリッツが税金で建設し、民間企業に賃貸をしているそうです。



エンガディン地方には 15 社のリフト会社があり総延長 350 k m のゲレンデを作り、450 名を雇用しています。

リフト券は IC カードによる自動改札機が導入されており、現在のシステムは 2 シーズン目になるそうです。ニセコのフリーパスポート券同様、エンガディン地方のすべてのスキー場で使えるリフト券があり、アゴブ (AGOB) という会社が発券から清算までを行っています。アゴブは、エンガディン

地区に 15 社あるリフト会社を取りまとめる管理会社的存在です。

リフト券の種類は時間券などの短い券種はなく、半日券から始まり 1 日単位で長期間の券が主流ですが、中には購入してから 3 日間のうち 2 日間使える券などがあり、長期滞在型のスキー場らしく、客の使いやすい券種設定がなされています。

自動改札機はリフト会社の売上精算方法 (客がそのスキー場にいた割合で精算をする) により、スキー場の最初のリフトにあるだけで (一部精算の都合上中間にも自動改札機がある) 入場者のチェックをするのみです。また、リフト券を持っているとエンガディン地区を走るバスにも無料で乗ることができます。ほとんどのリフトの終点にはレストランがあり、必ずテラスが設置されています。スキー場に来る客が冬の太陽を求めているためでもあり、年間平均 3 2 2 日間の晴天を誇る地方の象徴のようです。



スキー客の年齢層は日本と違って高いよう
でスキーをしに来るといよりも、リゾート
地にバカンスにきています。

ゲレンデはほとんどの部分が森林限界を超
えているため、無樹林地帯が広がり壮大な景
色になります。

雪の降った朝は雪崩の危険があるためヘリ
コプターでダイナマイトを使い、人工的に雪
崩を起こして崩しておきます。過去にはかな
り雪崩が発生し死者を出しているそうです。

広大なエリアのスキー場ですが、パトロールを専属で行う人はいなく、けが人などの救助はその
近くにいたインストラクターが、レッスンを中断して行います。このとき救助された人がコース
内外にかかわらず救助費用を支払わなければなりません。

スキー場のコースは雪上車で良く整備されていて、コース目印としてポールが立てられています。
特に危険な所にはロープ、旗、ネットで規制がされています。

ゲレンデ整備は、昼夜の気温差が激しくアイスバーンになるので営業終了から翌朝まで何度も同
じ所を圧雪し、アイスバーンになるのを防ぎます。

過去に2度のオリンピック、世界選手権が開催され世界一急斜面のスタート位置をもつ公認コー
スがゲレンデを寸断する形で設けられていますが、コースの下には左右に行き来するトンネルが
数本あり、客が移動できるように工夫がされています。



Corvatsch ロープウェイ山頂駅より麓のノルディック
コースを見た景色

サンモリッツより少し離れたス
キー場 Corvatsch と Diavolezza
を視察しましたが、こちらのスキ
ー場はサンモリッツの Corviglia
とは雰囲気違って地元のスキ
ー場という雰囲気があり、広い駐
車場も完備されています。麓には
ノルディックコース、道路脇には
ボブスレーコース・ルージュコー
スもあります。

Diavolezza 山頂駅より

